

大阪大学工学部一日体験入学

(1) 仮説

- ① 工学部の研究内容や実験・研究施設を見学して工学に関する興味・関心を高める。
- ② 模擬授業を受けたり研究室を訪問して研究内容をしることで、工学系への進路を具大的に考えることができる。

(2) 研究内容・方法

- ① 日 程 8月19日(金)
- ② 場 所 大阪大学工学部
- ③ 対象生徒 1、2年生の工学部体験希望者
参加者 43名
- ④ 実施内容 ・「大阪工学部の概要と研究内容の紹介」
機械工学専攻 武石賢一郎 教授
・応用理工学科の三専攻の研究室見学
知能機能創世工学専攻 浅田稔研究室にてロボット見学
マテリアル生産科学専攻平田好則研究室にて溶接技術の見学
機械工学専攻武石賢一郎研究室にてジェットエンジンの見学
・レーザーエネルギーセンターでレーザー装置見学
・「画像データ圧縮技術に関する演習」
情報システム工学専攻 中前 幸治 教授

(3) 検証

- ① 参加者のアンケート調査の結果、各自のモチベーションの高揚と、工学系の学問に対する興味関心を喚起することができた。

	肯定的評価	中立的評価	否定的評価
一日体験入学について	39	3	1
研究室の見学について	38	5	0
レーザーエネルギーセンター見学	39	4	0
模擬授業を聞いて	26	15	2
志望の学部・学科への気持ち	30	12	1

- ② 代表的な生徒の感想を列挙すると下記のようなものが多かった。

「レーザー研究所の実験装置のスケールの大きさに驚いた。」

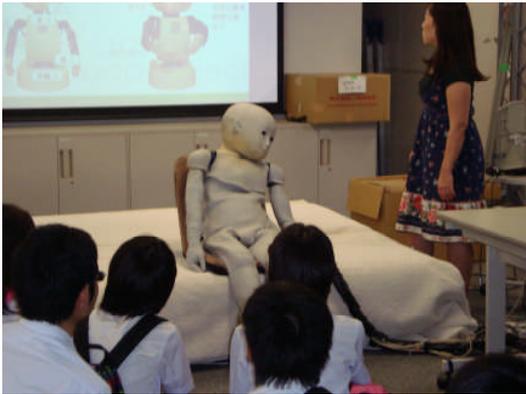
「大学の研究の方が身近なものが多く興味がわいた。」

「模擬授業は少し難しかったが、授業の雰囲気はわかった。」

「ロボット動きが人間に近くてリアルで感動した。」

「大学での実験は楽しそうで、学習の意欲がわいた。」

など。



浅田研究室ロボット見学



レーザーエネルギーセンター



情報システム工学演習

